

国土交通副大臣

酒井 庸行 様

要 望 書

歴史的資源に関するPR等の支援



2026年 8 月

愛知県知多郡東浦町

歴史的資源に関するPR等の支援について

2028年に、於大の方生誕500年という記念すべき年を迎えるにあたり、於大の方をはじめとした本町の歴史的な魅力を全国にPRしたいと考えています。

つきましては、隠れた歴史的資源を有する地方自治体が、全国規模での認知獲得と交流人口の拡大を実現できるよう、国の観光情報ポータルサイト等の機能を拡充し、地方の歴史的資源に特化した全国的なPR・発信支援を強力に推進していただくようお願いします。

○認知度向上に向けた課題

本町は、徳川家康の生母「於大の方」生誕の地であり、縄文時代早期の国指定史跡「入海貝塚」や、織田信長が初めて鉄砲を使用したとされる「村木砦」など、日本の歴史を語る上で欠かせない重要な文化財・史跡を有しています。

これらの歴史的資源は、地域の誇りであるとともに、交流人口の拡大や持続可能な地域経済の活性化を牽引する極めて重要な観光資源であり、2028年の「於大の方生誕500年」を契機として、その魅力を全国へ強力に発信したいと考えております。

しかしながら、一自治体の広報力や既存の手法のみでは情報発信に限界があり、愛知県内にとどまり、全国的な認知度の向上や誘客の拡大に至っていないのが実情です。

○於大の方生誕500年に関する情報発信の支援

2028年に迎える「於大の方生誕500年」を絶好の機会と捉え、歴史的資源を核とした地域活性化および交流人口の拡大に向けた各種取組を推進しております。

本取組の中には、県域を越えて東京都文京区とも連携した広域的な取組を進めており、単なる一地方の記念事業に留まらず、歴史文化を活用した観光振興モデルの構築や、全国に向けた新たな地域ブランドの創出という観点からも、国策に合致する極めて重要な意義を持つものと確信しております。

つきましては、2028年の「於大の方生誕500年」を契機に観光施策を推進すべく、観光庁等を通じた国の強力なネットワークや媒体を活用した全国への情報発信、ならびに地方創生を推進するための総合的なご支援とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

1 具体的な支援内容

全国の観光情報を発信するポータルサイト（JAPAN 47 GO など）は、網羅性がある一方で、「有名な観光地」や「予算をかけてPRしている自治体」の情報が目立ちやすく、小規模な自治体の歴史的資源が埋没しやすいという課題があります。

地方の知られざる歴史的資源を旅行者に届けるため、また、分散型旅行の推進によるオーバーツーリズム対策としても有効であると考えますので、次のような機能の拡充を提案します。

（１）地名ではなく「ニッチなテーマ」で検索が可能

「〇〇県」や「〇〇市」という地名検索ではなく、例えば「徳川家康ゆかりの裏スポット」など極めてマニアックなタグで検索できる機能。

（２）旅行者の属性に合わせた「検索」が可能

サイトのトップページに「初心者コース（王道の観光）」と「ディープコース（知られざる地方・歴史探訪）」が選択でき、ディープコースを選択すると、ランキング上位の有名地は非表示になり、アクセスは不便でも歴史的価値の高い地方のスポットが優先的に表示される機能。

（３）有名観光地とセットにする「寄り道・広域ルート自動生成 AI」

ユーザーが有名な観光地（例：名古屋、岡崎など）や王道ルートを検索した場合、「有名観光地から足を延ばせる、関連するマイナーな歴史スポット」などを AI が自動で組み込み、周遊ルートとして提案してくれる機能。

2 於大の方生誕 500 年を契機とした主な取組

（１）歴史散策路「於大のみち」の再整備

明德寺川河岸約 2 km に整備した「於大のみち」は、八重桜の名所として町内外に知られており、本町のランドマークとなっていますが、整備から 30 年以上が経過し、老朽化が進んでいます。

そこで、於大の方生誕 500 年に向けて、より魅力あるスポットとするため、リニューアル工事を実施しています。

（２）於大の方にゆかりのある自治体との広域的な連携

於大の方にゆかりのある自治体と、於大の方生誕 500 年を盛り上げていくため連携した取組を推進しています。現在は、阿久比町、新城市、刈谷市と連携し、共通ロゴマークを全国に募集しています。その他、県外ではありますが、於大の方の墓所がある東京都文京区とも連携していきます。

（３）文化財の価値向上と観光資源化に向けた取組

「入海貝塚」や「村木砦」「緒川城址」といった歴史的資源の魅力を高めるため、デジタル技術の活用を予定しています。失われた遺構や当時の情景など「見えない歴史」を「見える化」することで、文化財への理解を深めて価値向上を図るとともに、新たな魅力で来訪者の興味を惹きつけ、観光資源化へと繋げていきます。



緒川城址



村木砦址

桜並木と於大まつり

東浦町は、徳川家康の母「於大の方」が生まれ育った地であることから、1989年度(平成元年度)に地域振興のために行われた「ふるさと創生一億円事業」を活用し、町の中心部を流れる二級河川明徳寺川兩岸を歴史散策路「於大のみち」として整備しました。

於大のみちは河川の兩岸約二キロメートルにわたっており、於大の方の生い立ちをイメージして設置された彫刻や於大の方と家康が秘かに再会したエピソードをもとに作成されたモニュメントなどが設置されています。

また、八重桜の植樹も行っており、カンザンやフゲンゾウなど約 20 種類、330 本の八重桜が植樹されています。

八重桜が満開を迎える4月中旬には、歴史と文化の春まつりとして「於大まつり」が開催されるなど、東浦町の名所の一つとして、町内外から多くの方が訪れるスポットとなっています。



◀於大まつりでは、抽選で選ばれた於大姫や、鎧を着た武者が満開の八重桜の下を練り歩きます。

▼八重桜が咲き誇る於大のみち



▲於大の方の生い立ちをイメージして設置された彫刻

